

重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組事例

～流域市町の小学校で防災授業を実施～

- 防災・河川環境教育支援のモデル校として、重信川流域の伊予市の伊予小学校において試行授業を実施しました。
- 前年度に先生方と協議し作成した指導計画書等により、4年生を対象として全4コマの授業を行い、そのうち1コマは市内の他校の先生も参加した公開授業も行われました。
- 児童らは自然災害に備えて自分ができることを考え、グループで話し合い、日頃から防災意識を高めることが大切であることなどを学習しました。
- 試行授業は、重信川流域の3市2町の各モデル校1校で行われます。



グループで意見交換

【4コマ授業の構成】

- ①重信川の特徴や河川環境、洪水について
- ②洪水による生活への影響と減災のために行われていること
- ③風水害時に地域や関係機関の働きや連携について
- ④自然災害に備えて自分たちができること



河川管理者から提供した資料を使った授業



公開授業後の研究協議